

综合分析

試験区分	一般（後期）
制限時間	75分（理科2科150分）



出題分野	
系統と進化	27%
生命現象と物質	13%
遺伝子	7%
生殖と発生	20%
生物の環境応答	33%
生態	0%

The chart displays the percentage of exam questions for each topic from 2016 to 2018.

Topic	2016 (%)	2017 (%)	2018 (%)
生物多様性・生態系の保全	0%	0%	0%
炭素の循環・窒素の循環	0%	0%	0%
物質生産とその収支・栄養段階	0%	0%	0%
バイオーム・植物の遷移	0%	0%	0%
個体群の成長・植生と種間の関係	0%	0%	0%
植物の環境応答・植物ホルモン	0%	0%	0%
膜電位の行動・興奮の伝導と伝達	0%	0%	0%
動物の行動・興奮の伝導と伝達	0%	0%	0%
神経系の種類・中枢神経系	0%	0%	0%
受容器・効果器	7%	7%	27%
生体防御のしくみ・アルギー	0%	0%	0%
自律神経系と内分泌系による調節	0%	0%	0%
液体浸透圧の調節・腎臓・肝臓	0%	0%	0%
血液の成分とその機能・循環系	0%	0%	0%
ES細胞・遺伝子・再生と分化	0%	0%	0%
独立遺伝・連鎖遺伝・性と遺伝子	0%	0%	0%
動物の発生・誘導・HOX遺伝子	0%	0%	0%
植物の受精と胚発生・生活環	0%	0%	0%
細胞分裂・生殖系列の細胞・受精	0%	0%	0%
形質転換・遺伝子工学・電気・受精	0%	0%	0%
遺伝暗号と変異・塩基配列の解読	0%	0%	0%
遺伝情報の発現の仕組みと制御	0%	0%	0%
核酸の構造・DNAの複製・PCR	0%	0%	0%
光合成・化學合成・窒素代謝	0%	0%	0%
呼吸・発酵・解糖	0%	0%	0%
酵素	0%	0%	0%
細胞の構造と機能・生体膜の働き	7%	7%	17%
細胞分子・細胞骨格・細胞接着	7%	7%	10%
生物の分類	0%	0%	0%
分子進化・系統樹	0%	0%	0%
ハーディ・ワインベルグの法則	0%	0%	0%
人種の出現と変遷	0%	0%	0%
地質時代と生物の変遷	0%	0%	0%
進化の仕組み・細胞の起源と進化	0%	0%	0%

合格に要する能力（5段階）		
知識力	3.7	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	3.7	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.7	図表データなどから分析・解析する力
計算力	0.7	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	3.8	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無 数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述なし

特記事項 特になし

綜合評價

難度	3.2	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	62%
分量	70分	完答に要する時間（制限時間は75分）	標準	標準	

▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。

大問1の難度が高く、ここで必要以上に時間を取りられると大きな失点につながってしまう。最初に全体を俯瞰して時間のマネジメントを意識しておく必要がある。また字数制限が曖昧な論述問題が多く出題されるため、じしんの論述で題意を満たしているのか、説明の整合性を見極める力も求められるだろう。